

平成29年度生坂村消防委員会要旨

1. 日 時 平成30年1月15日 午後2時00分から
2. 場 所 生坂村役場 第3会議室
2. 出席者 牛越史博（消防委員長）、竹内一郎（消防委員）、竹内元己（消防委員）
平田勝章（消防委員）、一ノ瀬貞男（消防委員）
小山朗央（消防団長）、平田浩（消防副団長）、寺島慶次（消防副団長）
藤澤泰彦（村長）、牛越宏通（総務課長）、瀧澤和旦（消防主任）

3. 協議事項

- (1) 本年度事業内容並びに来年度事業計画について

説明事項

平成29年度の生坂村消防団の事業内容と、消防防災事業の防災対策備品整備事業と消防施設等整備事業の消防詰所建替整備事業（日岐）と積載車整備事業（下生坂）の全3事業について説明し、続けて平成30年度の生坂村消防団事業計画について説明。

委員からの質問意見

特になし

- (2) 消防設備整備要望箇所について

説明事項

各分団から要望として上がっている防火水槽、消火栓、消火栓ホース、消火栓BOX、表示看板、消防車両の修繕・更新が必要な箇所を説明。

今年度予算で、消火栓の開閉困難箇所の修繕と消火栓ホースや消火栓BOX等を予算の範囲内で更新する旨を説明。

来年度は草尾東の防火水槽の破損箇所の修繕と、20年以上経過している積載車が4台あるため、平成30年度は小立野部と大日向部の積載車2台を更新し、残りの車両は順次更新を進めていきたい旨を説明。

委員からの質問意見

Q. 消火栓の不具合については、業者より正確な点検方法等を聞いて団員へ周知してはどうか。

A. 要点をまとめ、分団長会議を通じて団員へ周知します。

Q. 要望事項にないが、消防車両のスタッドレスタイヤの交換が必要ではないか。

A. 車検の際に確認して、必要であれば交換していきます。

(3) 分団長会議からの要望事項

説明事項

分団長会議から上がっている3点の要望を説明。

1. 生坂村消防団規則の任期を現状に合わせるため4年から2年に改正したい。
2. 団員管理の適正化を図るために出動簿及び出動報告書を導入して団員の出動率等を明確にしていきたい。
3. ポンプ操法とラッパ吹奏大会出場交付金10万円を大会出場経費に充てているが不足していることから30万円に増額してほしい。

委員からの質問意見

Q. 出動報告書や出動簿の導入は良いが、分団長や部長の負担は大丈夫か。

A. 分団長会議の中で決定し、各分団長の了承はいただいています。

Q. 大会交付金の10万から30万は増額が大きすぎないか。

A. 靴、手袋、お茶等の支出が概ね30万近く掛かっていることから計上しました。

Q. 大会毎に費用の内訳を作成してほしい。

A. 内訳を作成し予算査定でお示しします。

(4) その他

説明事項

消防団活動に関するアンケート結果について・・・別紙のとおり

委員からの質問意見

Q. 訓練旗はマグネットシートで代用できないか。

A. 消防車両の仕様上問題なければ代用品を検討していきたい。

Q. 消防団の中で起きている問題を区の総会へ分団長や部長が出てきて話をしてほしい。

A. 2月の分団長会議で調整します。

Q. 各分団の収支決算報告書を区へ提出しているのか。区から消防費を貰っているなら収支決算報告をしたほうが良いのでは。

A. 2月の分団長会議で確認し、収支決算報告をするように依頼します。

Q. 消防団で不足している装備はないか。

A. 新たな装備の要望はないが、老朽化してきた法被やヘルメット等を適宜更新します。

別紙

◎消防団活動に関するアンケート（操法訓練場所等）取りまとめ

111名中74名

※本部は除く

○訓練場所を整備する場合どのような施設、設備が必要であるか

- ・水利が確保されている場所
- ・夜間練習が可能な照明設備
- ・操法用の十分な資機材及び資機材を保管できる倉庫、備品倉庫
- ・トイレ
- ・ポンプ車操法（2線）の練習が可能な広い場所

○訓練場所を整備した場合、操法練習場所以外にどのように活用できるか

- ・避難場所
- ・子供が遊べるような公園
- ・ヘリポート
- ・安曇野市のような防災広場
- ・耐震性防火水槽

○今後消防団活動を実施するにあたり、参加しやすくするための意見・要望

- ・団員報酬を月給制にすれば、団員のモチベーションが上がると思う
- ・新入団員の運転免許取得のための補助（準中型免許）
- ・消防団員のいる家庭の消防費の免除（区ごとに徴収している）
- ・被雇用者の団員が多いため、各企業の協力体制が必要
- ・詰所の環境整備（畳の張り替え等老朽化した部分の修繕、階段の手すり設置）

○その他に消防に関する意見・要望

- ・人材確保が困難になってきており、若い団員が確保できないため、消防団員以外の地元の人にも詰所の資機材が使えるようにしていけば良い
- ・積載車に訓練旗を取り付けられるようにしてほしい
- ・村からも新入団員の勧誘をしてほしい
- ・免許制度が新しくなり運転できる車両がわからないため、明確にほしい
- ・活動に出ない団員を退団させて、出席している団員の手当を増額してはどうか
- ・各分団（部）共に活動人員が年々減少している。各分団へ本部からの人員支援を検討してほしい
- ・小型ポンプ操法のための運用も検討してほしい（大会出場も含め）